

☒ソフト事業のみ☐ハード事業を含む

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和7年度

市町村名	鶴ヶ島市				
提案事業名	つるがしまこどもみらいSDGs事業				
事業期間	令和6年度 ～ 令和6年度				
成果指標	(成果を検証する指標) つるがしまこどもみらいSDGs事業のページアクセス数				
	(成果検証の具体的な方法) 市ホームページに本事業に関するイベントや行事等の情報を掲載し、アクセス数を計測する				
	(成果の目標値に対する実績)				達成度 A B C
	従前値 (R6年3月時点)	0件	目標値 (R7年3月時点)	1,200件	実績値 (R7年3月時点) 1,237件
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項			市ホームページで公表		

【事業効果の整理・原因分析】

令和6年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① “雨乞いPR” × “ゼロカーボンシティ宣言PR” 推進事業	○ △ ×	脚折雨乞とゼロカーボンをテーマとしたオリジナルポロシャツのデザイン案の作成を通じて、中学生に対して、将来の「脚折雨乞」参加に向けた効果的なPRができた。また、夏季に、オリジナルポロシャツを制服として着用したことで、中学校におけるゼロカーボンシティ宣言のPRと熱中症対策にもつながった。
② ゼロカーボン推進事業	○ △ ×	オリジナルイラストを用いた啓発用ステッカー及びエコバッグの作成・配布を通じて、小学生に対して、家庭部門の温室効果ガス排出量の削減に向けた意識啓発を図ることができた。
③ シティプロモーション推進事業	○ △ ×	脚折雨乞をはじめとした市内外でのイベント時にガイドブックと一緒に啓発品を配布することで、多くの方に手に取ってもらうことができ、市内外へ効果的なPRができた。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	ゼロカーボンの達成に向けた取組を通じて、環境意識と郷土愛の醸成を図るとともに、その取組を市内外に発信することで、定住・転入促進につながる事業を実施することができた。
実施事業について 成果が不十分である点	「ヘチマ」をテーマとした各種講演会など参加者が固定化しないよう広くPRしていく必要がある。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	本事業の成果を一過性のもので終わらせないよう、様々な機会を通して継続的なシティプロモーションを実施し、未来を担うこどもたちが安心して住み続けられる持続可能なまちづくりを進める。